

かゆみ・虫さされに かゆみグーバローション

鎮痒消炎薬

〔かゆみグーバローションの特徴〕

- 液体タイプで、スーッとこころよい清涼感を与えます。
- 首の部分が曲がっていて、スポンジがピッタリと接しますので、背中や腰などの塗りにくい患部にもスムーズにむらなく適量を塗布できます。
- かゆみや炎症を抑える成分として、デキサメタゾン酢酸エステル、ジフェンヒドラミン塩酸塩を配合しています。
- かゆみを抑える成分として、*l*-メントール、*dl*-カンフルを配合しています。
- 殺菌作用のある成分として、イソプロピルメチルフェノールを配合しています。



使用上の注意



してはいけないこと

〈守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります〉

1. 次の部位には使用しないでください。
(1) 水痘（水ぼうそう）、みずむし・たむし等又は化膿している患部
(2) 目の周囲、粘膜等
2. 顔面には広範囲に使用しないでください。
3. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(4) 患部が広範囲の人
(5) 湿潤やただれのひどい人
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
皮ふ(患部)	みずむし・たむし等の白癬、にきび、化膿症状、持続的な刺激感

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

〔効能・効果〕

かゆみ、虫さされ、かぶれ、あせも、じんましん、湿疹、皮ふ炎、しもやけ



〔用法・用量〕

1日数回、適量を患部に塗布してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

1. 定められた用法・用量をお守りください。
2. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
3. 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
4. 使用する際は、右図のようにスポンジ部分をゆっくり患部に数回押し当て、スポンジに薬液を十分しみ込ませてから塗布してください。（スポンジ面に薬液が十分しみ込んでいない状態で使用すると、スポンジが破損する場合があります。）
また、スポンジ面に薬液をしみ込ませても、強く押し当てたまま塗布しますと、スポンジが破損する原因になりますのでご注意ください。
5. 患部を搔かないでください。本剤にはアルコールが含有されているため、塗布した時にしみる場合があります。
6. 本剤のついた手で、目など粘膜にふれないでください。
7. 本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。



〔成分・分量〕

成分	含量 (100g中)	はたらき
デキサメタゾン酢酸エステル	0.025g	炎症を抑え、はれ・赤み等の症状を改善します。
ジフェンヒドラミン塩酸塩	1.0g	抗ヒスタミン作用により、虫さされ等に伴うかゆみや炎症を抑えます。
イソプロピルメチルフェノール	0.1g	患部に対する殺菌作用があります。
l-メントール	3.0g	鎮痛作用を有し、清涼感のある刺激作用により痛みやかゆみをやわらげます。
dl-カンフル	2.0g	

添加物：グリセリン、ヒドロキシプロピルセルロース、アジピン酸ジイソプロピル、クエン酸水和物、クエン酸Na水和物、イソプロパノール、エタノール

〔保管及び取扱い上の注意〕

1. 使用後は、速やかにキャップを十分に閉めて、直射日光の当たらない涼しい所に立てて保管してください。（保管方法を守らないと、塗布部のスポンジ破損の原因になったり、液漏れにつながる恐れがあります。）
2. 小児の手の届かない所に保管してください。
3. 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。
4. 火気に近づけないでください。
5. 時計、めがね等の金属類、化学繊維の衣類、プラスチック類、塗装のしたある床・家具等に付着すると変質することがありますので、付着しないように注意してください。
6. 衣類に付着した場合は、なるべく早く水又は洗剤で洗ってください。
7. 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

製品についてのお問い合わせ

- お買い求めの販売店
- ジャパンメディック株式会社 お客様相談窓口：076-438-1107
〔受付時間：月～金（祝祭日・年末年始を除く）9：00～17：00〕

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元
ジャパンメディック株式会社
富山県富山市横越168